

匹見地域協議会（第4回）会議次第

日時 令和2年2月21日（金）14:00～

場所 匹見タウンホール 集会ホール

出席者

（委員）藤谷 一剣・齋藤 惟人・大谷 文男・西川 友史・大久保純子
溝田 洋子・村上 巴・河本 亮・齋藤 光・齋藤 幸士
（益田市）島田匹見総合支所長、藤井地域振興課長・田中地域振興課参事
齋藤分室長・藤本分室長・佐々木分室長、事務局

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 協議事項

（1）地域協議会まとめ（要望事項）について<資料1>

4. その他

次回開催 令和 年 月 日（ ） 時 分～

主催者名	匹見総合支所地域振興課
会議名	令和元年度 第4回 匹見地域協議会
開催日時	令和2年2月21日（金） 14時00分 ～
開催場所	益田市匹見タウンホール 集会ホール
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 匹見地域協議会委員（10名） ・ 匹見総合支所：島田支所長 地域振興課：藤井課長、斎藤分室長 藤本分室長、佐々木分室長

【会長あいさつ】

思わぬ雪で1名の方が命を落とす出来事がありました。謹んでお悔やみ申し上げます。合併後10年間ということで地域協議会が設置されたが、合併特例債が5年延長されたことにより地域協議会も5年延長された。そしてこの3月末に終わりを迎える予定としている。最後に地域協議会としてのまとめとして市に要望書を出していきたいのでご意見を聞かせていただきたい。

【協議事項】

(1) 地域協議会まとめ（要望事項）について<資料1>

（進行・説明）

- 合併10年を迎える際に市に対して最重要課題として2つに要点を絞って要望した。
- 未だに実現していない匹見峡温泉と特産加工施設のことについて要望してはどうかと案を作成した。このことについて協議をお願いしたい。
- また、合併10年を迎える際に沢山の項目があった。今の時点で見直し、付け加えるか必要があるかどうかも考えていただきたい。

（質疑意見）

- 未調整の合併調整項目はあるか
 - ▷ 観光協会の統合、防犯灯、自治会補助金の3つがあり、防犯灯と自治会補助金については今進めている。
- この2つに絞ることに異論はないが、他の要望についても入れておいた方が良いのではないか。

- 忘れてもらってはならないので残しておくことは必要だと思うが、市としてはどうか。
 - ▷ すべてやりますという回答にはならないと思う。優先順位をつけてどれを先に着手するかという回答、それからの着手と言うことになると思う。

<地域協議会と匹見総合支所について>

- 地域協議会と支所は一緒になって物を考えていかなければならない。ここにある色々な項目について、どうなったか分からないまま今日を迎えてしまったという実感がある。
 - ▷ 地域協議会の皆さんにご意見を頂く機会が十分で無かったのではないかと反省している。地域の発展に関わる部分について地域協議会のご意見を頂くことは重要だと考えている。
- 支所長が本庁と兼務になることで意見が通りやすくなるという説明であったが、何も変わっていない。支所長は匹見地域の住民の言葉をしっかりと受けとめ、市役所内で積極的に働きかけをするような姿勢で取り組んで欲しい。
 - ▷ 支所長は支所の意見を本庁に繋ぐ役割を担っている。匹見や美都地域特有の地域課題も本庁に届いている。温泉についても本庁の担当課が関わることで進めて来られている。それぞれの地域の課題を市全体の課題として考えられるような仕組みづくりが必要だと考える。
- 支所と本庁の関係について、どの部分が共有されて、どう改善しているのかが見えてこない。
 - ▷ 昨年1年過ぎたところで検証を行い、その反省点を踏まえ2年目は改善に取り組んだ。再度検証を行うこととしており、その結果について何らかの方法で皆さんにお示ししたい。
- 地域協議会は3月末を持って終了予定だが、この協議会に代わるものとか、期間を延長するとか市の方針を聞きたい。
 - ▷ 今のままでいくと設置条例が廃止となり、協議会というものは無くなる。
- 条例が廃止されるということは目的を達成したということか。
 - ▷ 合併の特徴である合併特例債について限度額まで既に発行しており、新たに合併特例債を発行するための協議が無いということで大きな目標の1つは達成した。
- 本来の設置の目的は、地域の格差や衰退の無いようにするためだったと思う。地域協議会が無くなった後のことについて市の中で議論されたのか。
 - ▷ 条例の失効とともに地域協議会は終了するという前提であったため、そういった議論はしていない。それに代わる体制の一つとして支所長が地域の声を本庁に繋ぐという役割を持つ。地域協議会と同じような組織が必要という強い意見があれば受け止めなければならない問題と考える。

<匹見峡温泉について>

- 温泉の現状はどうなっているのか。
 - ▷ 現在第4回目の指定管理者の公募を行っており、募集の期限が2月25日、二次審査が3月3日、それから3月議会において指定管理者を決定することとなる。
- 申し込みの状況はどうか。再開の見通しはあるのか。
 - ▷ 公募であり詳しい状況というのはそれぞれの提案に影響することであるため、答えることができない。
- 漏水などの問題は解決したのか。
 - ▷ 沸かした湯を貯めるための水槽から水が漏れるということについては、4月に工事の予定

としている。

- 浴槽の修繕などが済んで指定管理ができる状態なのか。

▷ 現在工事中で、3月末までの工事として風呂の壁、浴室の壁、浴槽、エアコン、電灯の修繕を行っている。

〈特産加工場について〉

- 特産加工場については以前、事業実施者と協議調整をしながら事業化を検討するという回答があったが、今の状況はどうか。

▷ 現段階では農協が運営しているので、農協との協議になる。出荷量の減少や出荷単価などの諸問題があり、協議自体は中々進んでいない。

- 匹見総合支所と農協匹見支店で情報共有をして協議できるような体制を作り、話が進むよう取り組んでいただきたい。

▷ 担当者も農協とは綿密に打ち合わせを行っており、協議の再開に向けて考えて行っている。

- わさびについて、最近は一ターンされた方が中心で地元の人が全然いないと聞いたがどうか。

▷ わさび生産者組合の会長は確かに一ターンの方だが、地元の方もかなり多く方がいると聞いている。

〈項目のチェックについて〉

○合併10年を迎えた際に挙げたうち、未着手の項目について検討していきたい。

○事業に着手しているもの、事業が完了しているものについては要望に盛り込むことでは無いと思うがいかがか。

〈保健センターと匹見上公民館について〉

- 以前、匹見上公民館を保健センター移転という話があったが、不可能ということであったか。

▷ 一つの案としてお示しした。ウッドパークの管理の問題もあり、今すぐに移転という話にはならない。

〈林道整備事業について〉

- 林道笹山線、赤谷線の状況はどうか。

▷ 笹山線は完了している。

〈幹線市道の整備について〉

- 市道内谷線の状況はどうか。

▷ 着々と進んでいる。

〈除雪基地の整備について〉

- 以前は除雪車を元組地区にある第三林業の施設に入れてはどうかという話があったが、今も野ざらして置いているのか。

▷ 第三林業の施設には入れていない。シートをかけて置いている。

●機械を長持ちさせるためにも対策を考えてほしい。

<ふれあいの園について>

●雨漏りがあるようなので、屋根の改修工事が必要ではないか。

●こういったことは要望とは別に、早急に対応すべきである。

▷ 現在屋根の改修を行っている。

<国道488線とグリーンライン90について>

●グリーンライン90については、主なところとして土井ノ原地区と落合工区が残っており、まだ何年もかかるようだが、一応の見通しはついているようだ。

●国道488号線の通行止めについてはどうなっているか。

▷ 具体的には分からないが、広島県側との調整が全体の中で進んでいないと聞いている。

●国道488号線が通行止めになっているということは長年の懸案である。広島県側の事情もあるようだが、益田市も大きな課題の1つであることを認識して県に要望して欲しい。

●グリーンライン90の早期完成と併せてこの国道488号線についても要望に加えていきたい。

<もみじの里について>

●もみじの里の30床から50床へ増床するという点についても加えたい。

<財産区について>

●財産区については、財産区管理会のほうで活用を検討している。

●試しに木を販売したものの思っていたほどの利益にはならなかったが、それを踏まえた上で今後の販売について検討し、作業道を入れる等の方向で考えている。

<まとめ>

○匹見峡温泉、特産加工施設、国道488号線及びグリーンライン90、もみじの里の4項目について、要望書にまとめていきたい。

○文言については修正し、次回の地域協議会で最終確認をし、市長に手渡すという運びとしたい。

【その他】

(1) 防犯灯について

●合併調整項目として防犯灯を自治会に移管されたが、防犯灯が減って地域が暗くなった。

自分の住む集落は明るいですが、隣の集落に行くと暗いということがある。今後防犯灯を新たに設置する場合にはどこに相談したらよいか。

▷ 自治会が独自で防犯灯を設置する場合には危機管理課が所管の補助金がある。

●隣の自治会の防犯灯について、他の自治会の者が言うことはできないと思うが、そういっ

た場合はどうしようもないのか。

●合併してそういうことになった。致し方ないと思う。

(2) 匹見峡温泉やすらぎの湯一時再開時の利用者状況

○21日間営業して現金、入浴回数券での利用者は2114名であった。推定すると概ね6割が地元の方であると思う。このほか優待券等サービスの利用者が629名であった。